

お知らせ

ほんごう会大懇親会 (令和元年度総会)

令和元年 **11月9日(土)**

PM5:00～ 講演会
 テーマ：「高専機構が同窓会に期待するもの」
 講師：前・国立高専機構研究統括参事、現・福井高専校長
 田村 隆広先生

PM6:00～ 総会・懇親会

●場 所／ **ホテルグランテラス富山**
 (旧名鉄トヤマホテル)

●会 費／ 30才未満及び女性 ￥3,000
 30才以上の男性 ￥5,000
 新卒者 無 料

関東支部同窓会

令和2年 **2月1日(土)** PM12:30～15:00

●場 所／ **上野精養軒本店** (東京都台東区上野公園4-58)
 ●会 費／ 8,000円

※恩師の先生方にもご案内しています。

- ほんごう会大懇親会に出席の方はメール、FAX (076-421-2281) または同封のはがきにて、**10月30日までに**お知らせください。
- 関東支部同窓会へ出席される方は、**令和2年1月15日までに**お知らせください。

詳しくは、ほんごう会ホームページ

ほんごう会

検索

または、同窓会メールまで E-mail : ezx02722@nifty.ne.jp

最後の同窓会に、是非おいでください。

ほんごう

No.23

2019年(令和元年)10月発行
 〒939-8630 富山市本郷町13番地
 富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会
 発行責任者：石山彰雄
 制作：有限会社 青青編集

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報



大懇親会 (総会) および関東支部同窓会の開催情報は
 12ページをご覧ください。

統合同窓会の行方と結末

富山高専本郷キャンパス同窓会
「ほんごう会」会長 石山 彰雄



今年の会報に寄稿していた統合同窓会の行方がはっきりしてきたので下記のとおり報告する。

添付の「富山高等専門学校同窓会会則」を御覧頂けば、賢明な会員諸兄は理解されると思われるが、下記にその概略を記載する。

要は、統合後の卒業者のみをもって富山高等専門学校の唯一の同窓会とする。「ほんごう会」「北斗会」は勝手にそれぞれ活動していて、学校に必要があればその都度協力願いたい、という会則の内容である。

問題点は以下のとおり。

- ①「ほんごう会」「北斗会」には新卒業生が入会しない。故にいずれ消滅する。
- ②「ほんごう会」「北斗会」は正式な同窓会ではなく、単なる「なかよしクラブ」として参加者の情報交換と懇親の場でしかなくなる。
- ③高専にとって今、非常に重要なことは高専制度をどのように持続させていくかを提言することである。財源、教育制度など政治的配慮が必要な折、高専機構は、「高専を考える議員連盟」と共に財務省、文科省に交渉する必要がある。その強力な後ろ盾として全国同窓会連合会が必要となってくるが、「なかよしクラブ」ではその任務が果せないのである。これら問題点が山積するが、賢明な会員諸兄に

はしっかり熟慮してもらいたい。

同窓会統合の意見のなかに、高専生の卒業後の評価につき、気になる意見があったので、紹介し、反論する。

意見の内容は、高専卒業生は短大卒程度の評価でしかないとする考え方がある。企業の立場で企業戦略として大卒扱い、短大扱い、高校卒扱いとすること、それはあくまで企業の戦略である。学校や同窓生が発信すべきは、5年間で大学以上の専門教育を受講していることによる大卒扱いをアピールすることである。自ら進んで短大卒扱いでよしとすることなど更々考える必要のないことである。

平成29年12月26日発行の日本経済新聞のインタビュー記事に高専機構の谷口功理事長も、日本の産業界への要望として下記のとおり答えている。

「誰もが高専生は優秀だと認めている。ただ大半の企業で高専卒と大卒とで初任給に差があるのは残念だ。初任給は同一にしていきたい」

高専機構・学校側の発言としては当たり前で、短大卒扱いでいいなどと言える訳はないのである。

いずれにしても高専制度は発展途上、実験中の教育制度である。だとすれば余計に制度提言を同窓会がすべきことは明らかで、単に懇親の場だけであってはならないのである。

富山高等専門学校同窓会会則

富山高等専門学校同窓会会則	
第 1 章 総 則	
(名 称) 第 1 条	本会は、富山高専専門学校同窓会と称する。
(所在地) 第 2 条	本会の本部は、富山高専専門学校射水キャンパス内に置く。
(目 的) 第 3 条	本会は、会員相互の親睦、母校の発展を図り、学術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とする。
(事 業) 第 4 条	本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。 (1) 会員相互の親睦に関する事。 (2) 母校及び会員相互の連絡に関する事。 (3) その他本会の目的を達成するため適当と認められる事業。
第 2 章 会 員	
(会 員) 第 5 条	本会は、次の会員をもって組織する。 (1) 正会員 1) 富山高専専門学校を卒業した者、ならびに同校の専攻科を修了した者。 2) 富山高専専門学校、富山工業高等専門学校、富山高専高等学校、富山高専船舶高等専門学校に3年以上在籍し、理事会の承認を受けた者。 (2) 特別会員 富山高専専門学校の教職員ならびに理事会で推薦された旧教職員。 (3) 学生会員 富山高専専門学校に在学する者。
第 3 章 役 員	
(構 成) 第 6 条	本会に次の役員をおく。 (1) 名誉会長 富山高専学校長 (2) 会長 1名 (3) 副会長 若干名
<p>なければならない。</p> <p>5 理事会は、副会長及び理事全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで開くことができる。</p> <p>(理事会の決議) 第 11 条 本会の業務執行は、理事会の決するところによる。 2 理事会の議長は、会長とする。 3 理事会の決議は、理事会の組織員の過半数（委任状を含む）が出席し、その議決権の過半数で決する。可否同数の場合は議長が決する。 4 理事会の決議について特別の利害の関係を有する者は、議決権を行使することができない。この場合の議決権の数は、前項の議決権の数に算入しない。</p> <p>(書面による決議) 第 12 条 会長は、理事会組織員の全員の同意があるときは、書面により議決を求めることができる。 2 前項の場合において、決議の目的である事項について、理事会の組織員の過半数が書面をもって同意を表したときは、理事会の決議があったものとみなす。 3 会長は、遅滞なく、決議の結果を副会長、理事及び監事に通知しなければならない。 4 理事会に関する規定は、書面による決議に準用する。</p> <p>(理事会の議決事項) 第 13 条 理事会は、総会に提出する次の事項に関する議案の作成、その他本会運営のすべての必要事項を協議し、処理する。 (1) 事業計画に関する事項 (2) 予算・決算に関する事項 (3) 会則の改廃に関する事項 (4) 会長から付託された事項 (5) 前各号に掲げるもののほか業務の執行に関する事項</p> <p>第 2 節 総 会 (総 会) 第 14 条 総会は、正会員をもって構成し、毎年開催する。また、会長が必要と認められた時は、臨時に開くことができる。 2 議長は理事会が推薦し、総会の席上で決定する。</p> <p>第 15 条 総会は次の事項を審議し決議する。ただし、緊急時には理事会の承認により、これに代えることができる。</p>	
<p>(4) 理事（兼事務局長） 1名 (5) 理事 若干名 (6) 監査 2名 (7) 顧問 若干名</p> <p>(役員の仕事) 第 7 条 役員は次の任務を行う。 (1) 会長は本会を代表し、会務を総理する。 (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。 (3) 事務局長は会長を補佐し、本会の事務を統括する。 (4) 理事は会長、副会長とともに理事会を構成し、本会の運営にあたる。 (5) 監査は本会の資産及び会計の状況を監査する。 (6) 顧問は本会の運営に関して意見を述べた。</p> <p>(役員を選出) 第 8 条 第 6 条の役員は、それぞれ次の方法で選出し、会長、副会長、理事（兼事務局長）、理事、監査は、総会の承認を受ける。 (1) 理事および監査は、理事会により正会員から選出する。 (2) 会長、副会長は、理事の互選により選出する。 (3) 理事（兼事務局長）は、会長が理事より委嘱する。 (4) 顧問は、富山高専の現職教職員、本会役員経験者および富山高専の支援組織代表に会長が委嘱することができる。 (5) 会長は任務遂行のため富山高専職員のうちから事務員若干名を委嘱することができる。</p> <p>(役員任期) 第 9 条 前条により選出された役員任期は、原則2年とし再任を妨げない。ただし、欠員のため補充した役員任期は、前任者の現任期間とする。また、次期役員選出までの間、旧役員は引き続き職務を行うこととする。</p> <p style="text-align: center;">第 4 章 会 議</p> <p>第 1 節 理事会 (理事会の組織及び招集) 第 10 条 理事会は、会長、副会長・理事及び監事で組織する。 2 理事会は、会長が招集する。 3 理事会を招集するには、会日より2週間前までに、副会長及び理事に対しその通知を発しなければならない。ただし、緊急を要するときは、その期間を短縮することができる。 4 前項の通知には、会議の日時、場所及び会議の目的である事項を記載しなけ</p> <p>(1) 事業報告、収支決算、事業計画および予算に関する事 (2) 役員選任に関する事 (3) 会則の改廃に関する事 (4) その他の必要事項</p> <p>第 16 条 議事の審議決定には、出席会員の過半数の同意を必要とする。</p> <p style="text-align: center;">第 5 章 会 計</p> <p>(会計年度) 第 17 条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。</p> <p>(財 源) 第 18 条 本会の財源は、次に掲げるものをもってあてる。 (1) 会費 (2) 寄付金 (3) その他の収入</p> <p>(会 費) 第 19 条 会員は原則として富山高専入学期に終身会費を納入するものとする。終身会費は、20,000 円とする。ただし、一旦納入された会費は原則として返還しない。 2 特別会員および名誉会員からは徴収しない。</p> <p style="text-align: center;">第 6 章 雑 則</p> <p>(細 則) 第 20 条 本会則を施行するに必要な細則は理事会の審議を経て別に定める。</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>(施行期日) この会則は、令和元年 10 月〇日から施行する。</p>	

会員のひろば

クラス会・OB会情報

令和元年 C10クラス会報告

令和元年8月12日18:00~20:00 インドカレー料理店「SANTOSHI」で恒例のC10クラス会を開催しました。

インド料理店の為、富山市内のインド人が大勢食事をしており、とても日本とは思われない雰囲気の中でのクラス会でした。インド料理は大量のニンニクを使用しており、帰宅したなり、家内にニンニク臭を指摘され、一晩で寝室がニンニク臭で充満されました。

C10は、30年以上お盆の時期にクラス会を開催しています。昨年は、皆還暦を迎え、役職定年になった者、嘱託社員になり給料が半分になった者など暗い雰囲気でしたが、今年は、第二の人生に向かって前向きな話が多かったように思います。

毎年10~15人程度ですが、今年は11人でした。例年県外から2~3人参加しているのですが、今年は県外組がい

ませんでした。

還暦を超えると話題は、孫や健康、趣味の話が多かったように思います。おじいさんの仲間入りをしたとは言っても、皆元気で、来年以降もクラス会をやる予定です。お盆の時期にはクラス会を予定に入れて下さい。

(文責:工業化学科10期生 打出)



物質科学工学科 (平成29年度卒)

この度令和元年8月17日に初めての同窓会を開催しました。

30人の仲間が集まり、峰本先生にも来ていただきました。

卒業から2年半がたち社会人も増えてきた頃合いですが、皆変わりなく元気な姿を見ることができてよかったです。

次に集まるときは、今回来られなかった県外勢も合わせて全員で! ちゃんと帰ってきてね。(碓井直人)



C14クラス会

数年ぶりという期間が空いた開催だった事もあってか、17名の参加という大盛会となりました。

来年も是非やろうとの声が上がりましたので、一年に一度集まり旧交を温めていきたいと考えています。

今回いらっしやらなかった方も、是非次回以降は機会を見つけてご参加ください。(高橋良太)



C1同窓会

工業化学科1期生として卒業してから50年の節目になり、福井県芦原温泉にてC1同窓会を開催し、21名が参加しました。卒業してはや半世紀、全員が70歳の古希を迎えます。いまだに現役で頑張っている方もいますが、それぞれ自分の生きがいを見つけて奮闘中です。少なくともあと10年は同窓会で元気に顔を合わせようと互いに誓いました。

(工業化学科1期生同窓会 幹事代表 藤田正志)



M43同窓会

2019年5月2日(木)に同窓会を開催したことをご報告いたします。

参加人数は県内外を含めて11名でした。

順調に毎年1人ずつ結婚していき、個々に家族を持ち次のステージに進んでいるなど実感する年になりました。

今回は家族も含めて常願寺公園にてBBQを開催しました。令和元年、気持ちのイイ1日でした。

(クラス会計係 松井大貴)



ラグビーフットボール部OB会

令和元年5月4日、今年も富山高専ラグビーフットボール部OB会を開催しました。

GW真っ只中、天候にも恵まれ常願寺公園のラグビー場で交流試合を行いました。

交流試合は商船OB(現、射水キャンパスOB)をはじめ県内のラグビー関係者の協力で大変盛り上がりしました。

現役学生部員には、ボール・ヘッドキャップを贈り激励しました。

夜の懇親会も大変盛り上がりしました。

これをご覧になったOBの方々、来年の参加をお待ちしております!(来年も5月4日開催予定)

富山高等専門学校
本郷キャンパス
(ラグビーフットボール部
OB会 代表 道井秀樹)



4M同級会

平成30年9月22日(土)に、4M同級会を富山市新富町の懐石・会席料理「しゅん家」で開催したところ、県内外から14名の方に参加頂きました。昨年は本同級会を開催しなかったため、二年ぶりの顔合わせとなりました。

会の最初に、現在リハビリ中の仲間の一人が長男さんと一緒に会場を訪れて頂き、お会いすることができました。焦らずリハビリに取り組んで頂くようお願いしました。

本同級会に今回初参加の方の乾杯の音頭で会を開始し、参加の皆さんの近況をそれぞれ順に話して頂きました。皆さん、それぞれの人生を頑張っておられます。

今般、富山高専同窓会の4M現理事のご本人より辞任の申し入れがあり、新理事に変更のこととなり、出席の皆様が新理事の承認を頂きました。

また、参加の方の北海道の親戚に112歳で男性世界最高齢の方がおられるという目度い新聞記事を紹介頂きました。

青春の時を一緒に過ごした皆さんと大いに語り、来年の再会を約束し、終了しました。

(報告者 4M幹事 山崎勝弘)



2019陸上部OB会活動報告

8/14令和元年度の陸上部OB会を本郷キャンパスのグラウンドで開催しました。

今年は久しぶりにOB会に顔を見せてくださった先輩方もおり、台風接近による異常な暑さの中ですが、皆々が愛着のあるグラウンドで走り、投げ、跳びました。流石、陸上部OB。誰一人体調不良者を出すことなく、このコンディションなりのベストを尽くし、無事全種目を終えました。

今年も豊嶋先生や現役部員の皆さんが全国大会に近い中、応援に駆けつけてくれて大変お世話になりました。

全国大会には10名以上の部員が出場すること。20歳年上の先輩も大変嬉しいです。みんな頑張れ!

今年は嬉しいことに射水キャンパス卒業の若手OBも顔を出してくれました。我々陸上部OB会は本郷、射水の合同開催を目標としています。合同開催にむけては、開催時期の検討、射水の卒業生にどうやって声をかけるか、予算や運営の問題などハードルが何台も並んでいます。ゴールを目指して1台ずつ越えていきます。

(OB会副会長 33M 松永友宏)



OBゴルフ会

「わかたけ会」は、本郷キャンパス教職員によるゴルフ会の名称でした。その名前を本郷キャンパス卒業生と名誉教授が引き継いで、青い空と緑の芝生に囲まれた自然の中に集い、親交を深めています。

第1回のわかたけ会は、2015年5月に開催されました。名誉教授と卒業生あわせて7人が集まり、日頃の腕を競ったのが記念すべき最初のゴルフ会でした。その後も着実に会員数を増やしながら、年3回のゴルフ会を行っています。今年で5年目を迎え、会員数も現在75人ですが、100人を超える会員数を目指しています。そのためには、各クラス同窓会にてPRしたり、地元新聞にわかたけ会開催を投稿したりと、地道に声掛けを行いながら、本郷OB会の輪を広げて、わかたけ会の認知度を高めてまいります。

5年目の2019年度も、年3回の開催を計画しました。4月は小杉CC、7月は富山CC、10月は千羽平GCで行います。競技方法は、参加者全員のペア方式にてハンディを決め、順位を争っています。今まで14回開催しましたが、優勝者は11名とほぼ毎回異なっており、誰でも優勝できるチャンスがあります。ただし、参加して頂かないと優勝の権利を得ることはできませんので、是非ともお知り合いの会員または幹事宛にご一報頂き、登録をお願いします。

ご存知のように、現在の富山高専は2009年度に2つの高専が統合されたものです。近い将来には、射水キャンパスOBのゴルフ愛好者と、わかたけ会との交流ゴルフ会も検討しております。

わかたけ会幹事

9 E 藤田正良 e-mail:fujimasa70@gmail.com

9 C 吉田敏己 e-mail:yossie@smk.co.jp



機械工学科

初の寄稿となります。

久しぶりに降り立った富山駅は、学生時代とはがらっと変わっていました。構内にある惣菜屋でワイン樽で熟成したという地酒を一杯ひっかけから、会場へ向かいました。

私たちは、年末年始の帰省に合わせ、毎年12月30日に同窓会を実施しており、今回が14回目です。担任であった高熊先生、佐瀬先生、増山先生をお誘いして毎回20人ほど集まります。

今回は、増山先生を囲み15人で近況を語り合いました。

最近では、米、独、伊と海外赴任する者や、県外に居を構え、子育て期にあることから、帰省しない者もいますが、寂しい思いも年とともに薄れてきました。逆にSNSで海外の暮らしを知れたり、年賀状で友人の子供の成長を見ることが楽しかったりもします。とは言ったものの節目の

20回目の際には、再会できるのではと期待しております。

今回の幹事は、旧姓小田氏。年末の楽しみに向け、学生時代とはがらっと変わったお腹をつかみ、節制を誓いました。(機械工学科 平成17年卒 星野喜郎)



2018年E3クラス会@大阪・神戸

E3メンバーで毎年開催している旅行会、昨年2018年は10/23(火)~25(木)の日程で、大阪と神戸の旅を満喫して来ました。毎年実施の旅行会ですが、今回も北陸・関東・関西から11名もの仲間が参加しました。

2017年の開催時に、富山の田舎に住んでいるので、今回は都会に行きたいとの希望から、今回は大阪見学と宝塚観劇となりました。初日は「宝塚歌劇」を見て、そのあと憧れの「新地クラブ」で貸切りパーティー、翌日は「大阪観光」と「有馬温泉」の高級旅館に宿泊、さらに3日目は「六甲山」と「神戸三ノ宮」の観光と、盛りだくさんの旅行でした。

今年2019年は久しぶりに富山でやろうという事になりましたが、富山ならやっぱり立山だろうという事で、8月に「みくりが池温泉ホテル」に宿泊し、翌日の夜は富山市内での宴会を予定しています。日頃疎遠なE3同窓生もこの機会にぜひご参加下さい。

<10/23(火)>

■各地から神戸宝塚に集合；「宝塚歌劇宙組」を観劇

宝塚歌劇のチケット11枚取得が難しく、宝塚ファンクラブの重鎮=歌舞伎町のクラブママ、そのクラブに数度通ってやっと入手。何年振りかの観劇だったが、ラインダンスや背負い羽根のシーンでは思いもよらず感激した。

■大阪の東横インで宿泊着

E3クラス会では初めてのビジネスホテル泊。ツインルームを予約したが、皆さんの希望で全員シングルルームに変更。



■夜は「北新地」のクラブで宴会

綺麗どころがそろっていて、久しぶりに楽しく過ごさせてもらった。

<10/24(水)>

■大阪観光；「あべのハルカス」展望

大阪市内が一望できて素晴らしい。大阪に来たらお勧め。

■「通天閣」で串カツ昼食

新世界串カツ発祥店、知名度No.1「だるま」で名物を堪能、この雰囲気は味わいがあるね。

■有馬温泉にバスで移動；「古泉閣」に宿泊し宴会

有馬温泉ならではの、赤茶色に濁ったお湯で優雅な雰囲気。宴会では幹事が準備したアマダクジで盛り上がった。

<10/25(木)>

■「六甲山ロープウェイ」で山頂散策

ホテルから送迎バスでロープウェイ乗り場に。神戸市が一望できて絶景だった。

■「神戸三ノ宮」に移動；昼食後解散

神戸三ノ宮駅近くのチャイナタウン「南京町」での昼食予定が、さすがに疲れて駅前での昼食後、解散。無事帰宅した。

<参加者>

(北陸5人) 上田、川原、澤田、高田、中島潔

(関東5人) 熊本、野村、森、横山、米田

(関西1人) 嶋

幹事：野村正信

報告：川原久雄

同窓会助成部活紹介

囲碁将棋部

近年の囲碁将棋部の活動状況について報告いたします。全国高等専門学校将棋大会が毎年8月に実施されています。今年は久留米高専主管で行われる予定です。ここ最近では女子個人の入賞(昨年度準優勝・一昨年度優勝、湊梨緒さん：物質工学科)はありますが、男子団体は予選を抜けられない状況です。男子個人は、競技レベルがかなり高く、予選をなんとか抜けられる部員が若干出る程度で、奮起が期待されます。

高等学校の部では、相応に成果を挙げています。昨年は男女ともに、長野県千曲市で開催された全国総文祭に団体戦でアベック出場し、男子は予選を抜け、Best15(半端な数字ですが、高校将棋はスイス式トーナメントという方式を採用していて、予選4対戦のうち3勝以上すると決勝トーナメントに出られます。)に入りました。女子も予選2勝を上げ、初出場ながら健闘したと思います。今年は、男子団体は県大会3位で全国大会出場は逸しましたが、女子は出場権を得て、佐賀県江北町で開催さ

れた大会に参加しました。昨年と同じ2勝でしたが、強豪校と競り合い、あと一步で決勝トーナメントまで成長しました。

近年は4年生が大会とインターンシップが重なる関係で、ベストメンバーで全国高専大会に臨めていません。本校に限った条件ではないのですが、高学年の学生の課外活動のありかたを検討していく必要があるようです。日頃の練習に関しては自主性もついてきていますし、まじめに取り組んではいますが、全体としてやや貪欲さに欠ける面は否めません。遠征費や参加費等において、ほんごう会の皆さんからのご支援をいただき、近畿中部地区の高専で行っている大会や、県レベルの強化練習会、さらには一般の大会に出場する機会を持っていることが大きな刺激になります。今後とも応援をよろしくお願いたします。



知能プログラミング研究会

私たち知能プログラミング研究会は週に2、3回学生ラウンジで活動しています。同好会ではWRO(ワールド・ロボット・オリンピック)の世界大会出場、高専プロコンでの上位入賞、またセキュリティコンテスト等の出場を目標としています。WROとは年に1回行われる世界的なロボットコンテストで、開催地の文化や特色に基づいて課題が決められ、その課題をクリアするためのロボットを製作します。高専プロコンは富山高専本郷がこれまで出場したことがないため大会に対するノ

ウハウは少ないですが、プログラミング経験者を主体として顧問の先生方と協力してよい成績を残せるようにしたいと思っています。また、セキュリティコンテストやETロボコン、ロボカップ等の様々な大会に出場して、さらにプログラミングの知識を身に付けたり、他高専や全国のプログラマーとの交流を深めたりしながら、この同好会が富山高専を代表する部活となるよう努力していきたいです。



テニス部

テニス部の目標

本年度はテニス部に助成いただきありがとうございました。助成金はテニスのネットの購入費に充てさせていただきました。厚く御礼申し上げます。

今年の北陸地区高専体育大会では、女子が8年ぶりに団体優勝することができました。個人戦でも女子はシングルス、ダブルスとともに2位に入りました。これに対して男子は、個人戦ダブルスの4位入賞が最高成績でした。来年こそは女子に負けない成績を上げたいと思っています。そして男子・女子ともに全国大会に出場できるよう今後も練

習を頑張っていきたいと思っています。引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。(3E 木村亮一)



剣道部

同窓会の皆様、いつも剣道部にご配慮頂き感謝申し上げます。

剣道部は部員数が少ない（5年3人、4年5人、1年生4人）ものの、昨年度は北陸地区予選を男女とも突破し、全国高専大会（個人戦・団体戦）に出場し、個人戦では優勝致しました。今年度も女子が（団体戦）全国高専出場することとなり、現在練習に励んでおります。

頂きましたご援助は、部活動費の補助費用として救急薬品や組紐など消耗品の購入などに活用させていただいております。

諸先輩の御支援のおかげもあり、日々練習に集中できますことを心より感謝しております。これから全国高専大会への勝利に向けて、部員一同一丸となって練習に取り組む所存です。

今後とも剣道部に対し、変わらぬご指導ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。感謝の言葉と致します。



軽音楽部

軽音楽部です。このたびは、クラブ助成をいただきまして真にありがとうございました。助成金につきましては、ギターアンプの購入に充てさせていただきました。昨年度末に長年使用してきたギターアンプが壊れてしまい、イベント開催はおろか日々の練習にも支障をきたす状況でありました。そのような時にクラブ助成金をいただくことができ、まさに天の助け！とばかりに大変喜んでおります。顧問ならびに部員一同、心より御礼申し上げます。

軽音楽部には現在32名が在籍しており、今年度も新たに8人の1年生が入部しました。女子部員の比率も年々増加しております。練習日は週に2日間（水曜と金曜の放課後）の活動ですが、練習日以外でも外部のスタジオを借りるなどして熱心に活動しているバンドもあります。

今年度は、さっそく助成金によって購入したギターアンプを使用して新入生歓迎ライブも開催することが

できました。そして今後は11月に行われる志峰祭に向けて部員一丸となって日々の練習に励んでいきます。これからも同窓会の大先輩方から受けたご恩を忘れず、明るく健全な活動を維持し「軽音部に入って良かった」と言ってもらえるような部活動を目指して頑張っております。今後ともご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。



サッカー部

全国大会に出場します！

我々サッカー部は全国高専体育大会（全国大会）への出場を目標とし、日々の練習に励んでおります。その目標を達成すべく、厳しい練習に取り組み、部員の士気を高め合ってきました。新チームとして、冬季期間での基礎練習から始まり、3月の豊田遠征から本格的に実践的な試合に入ります。5月に行われる高校総体や強豪チームとの練習試合を経て、目標としている全国大会出場に繋がる北信越大会を迎えます。本年度の北信越大会では、これまでになく充実したチーム体制で臨むことができ、準優勝することができました。これにより目標であった全国大会へ出場することになりました。ここまでの成果が得られたのも、同窓会からの助成のおかげで、例年よりも遠征や練習試合

等をこなすことができたためだと思います。部員一同、改めて感謝する次第です。

全国大会への出場が決まったものの、サッカー部として満足はしていません。全国大会でも活躍できるよう取り組んでいく所存です。

（電気制御システム工学科3年 江尻翔）



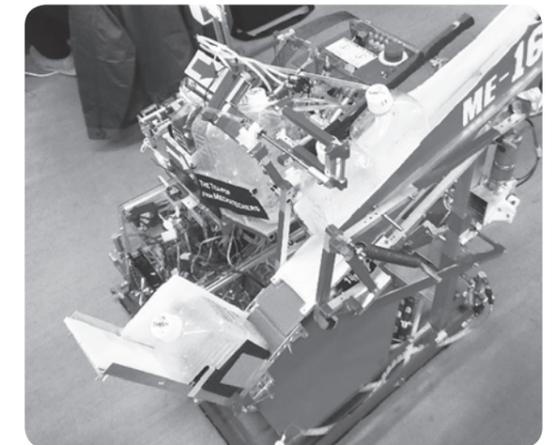
メカテック部

メカテック部では、NHK高専ロボットコンテスト（通称ロボコン）を軸として、ロボット制作を中心に活動しています。

1年間の活動内容として、年度前半にロボコンに出場するためのロボットを制作し、後半は新入生の教育や、技術開発、部内規模のロボコン等を行い、来年度のロボコンに向けての準備や、各々がより深めたいものを研究していくような活動をしています。

今年度は、昨年度まで部を引っ張ってこられた先輩方が後見に回り、主に3年生が主役となって、10月に行われるロボコン地区大会、その先の全国大会に向けて活動しています。

今年の競技は「らん・ラン・ランドリー」です。洗濯物干し”をテーマにした競技となっており、台に置かれた本物のTシャツ、バスタオル、シーツをロボットに装填し、フィールドに設置された3本の物干し竿にロボットが掛けるような競技となっています。試合時間2分30秒の間で、洗濯物をできるだけ多く干し、干された洗濯物全体的な美しさで勝敗が決まります。1チームにつき出場できるロボットは2台で、昨年に引き続き、ロボットの



ほんごう会のホームページアドレスは <http://www.tk-hongou13.net/>
 【会員専用ページ閲覧IDとパスワード】 ユーザー ID : member パスワード : passhongou13
 【メールアドレス】 ezx02722@nifty.ne.jp 英語で表示されるかも知れませんが上段にID、下段にパスワードを入力してください。